付録２　e-Tax ソフトのメンテナンス

e-Tax ソフトのメンテナンス（バージョンアップ、追加インストール、再インストール）はインターネットを介して簡単に行うことができます。

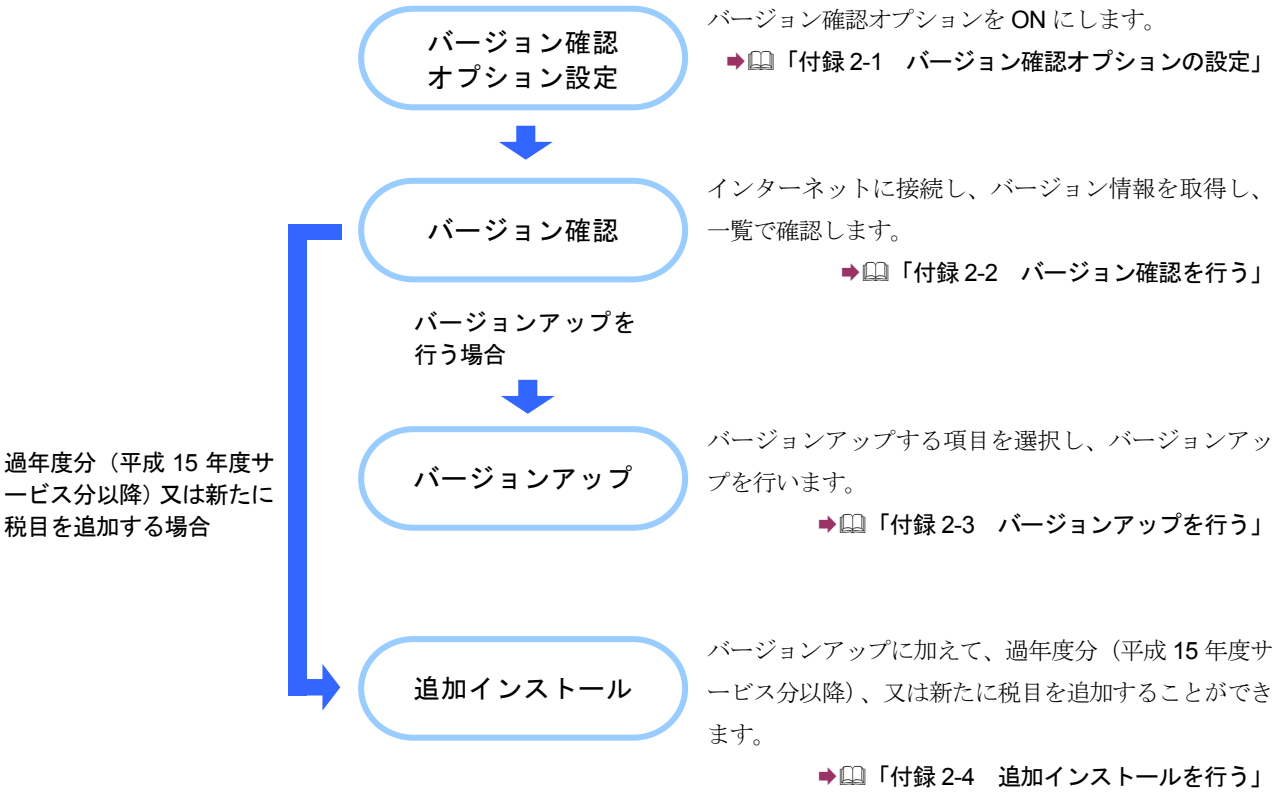
以下の場合にバージョンアップが必要となります。

- **プログラムが更新された**
- **共通帳票が更新された**
- **インストールしている税目の申告が更新された**
- **インストールしている税目の申請が更新された**

これらの場合にすぐにバージョンアップを行えるよう、e-Tax ソフトにはバージョン確認オプションが用意されています。
バージョン確認オプションを ON にしておくと、e-Tax ソフトの起動時に、バージョンアップが必要か確認されます。なお、バージョンアップ確認オプションを OFF に設定した場合でも、帳票の変更や、国税庁からのお知らせを定期的にチェックすることをお勧めします。
バージョン確認でバージョンアップが必要な項目があった場合には、一覧が表示されます。利用者は表示された一覧から簡単にバージョンアップを行うことができます。

また、セットアップしていない税目の追加や過年度分（平成 15 年度サービス分以降で、年分廃止対象を除く）の追加など、追加インストールを行うことができます。

e-Tax ソフトのメンテナンスの流れは以下のとおりです。



次頁以降で、各操作について説明します。

付録 2-1　バージョン確認オプションの設定

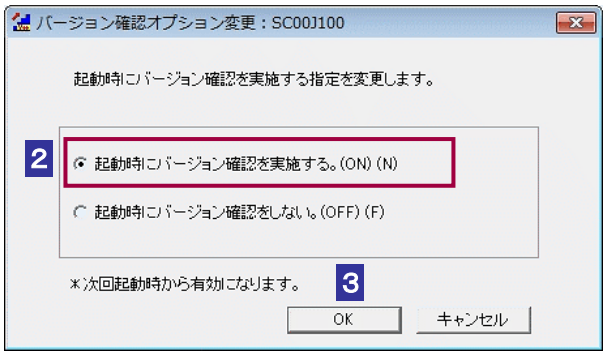
バージョン確認オプションを設定します。このオプションを ON にしておくと、e-Tax ソフトの起動時に、利用者がセットアップしている税目がチェックされ、申告・申請等を行う際、バージョンアップが必要となる税目が一覧表示されます。

注 意
e-Tax ソフトが起動している場合は、本プログラムを起動することができません。
必ず e-Tax ソフトを終了してから行ってください。

1 **＜Windows １０、Windows １１の場合＞Windows の［スタート］メニューから［すべてのアプリ］－［e-Tax ソフト］－［バージョン確認オプション変更］を選択します。**

バージョン確認オプション変更プログラムが起動します。

2　「起動時にバージョン確認を実施する。(ON)」をチェックします。



ヒント

設定は次回起動時から有効になります。

「起動時にバージョン確認を実施する。(ON)」をチェックすると、毎回起動時にバージョン確認が行われます。

毎回確認する必要がない場合は、「起動時にバージョン確認をしない。(OFF)」をチェックします。

OFF に設定した場合でも、帳票の変更や、国税庁からのお知らせを定期的にチェックすることをお勧めします。

3　OK をクリックします。

バージョン確認オプション変更完了メッセージが表示されます。

4　設定内容を確認し、OK をクリックします。

バージョン確認オプション変更プログラムが終了します。

以上で、バージョン確認オプションの設定は終了です。

付録 2-2　バージョン確認を行う

バージョン確認オプションを ON にした場合は、e-Tax ソフト起動時にバージョン確認が行われます。

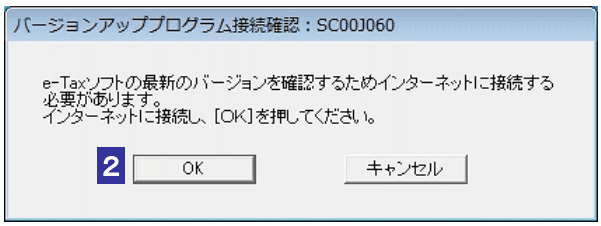
現在セットアップされている年分・税目のバージョンが最新のバージョンとなっているか確認され、申告・申請等を行う際、バージョンアップが必要となる税目が一覧表示されます。

1 デスクトップの「e-Tax ソフト」アイコン をダブルクリックします。

ヒント

デスクトップにアイコンがない場合は、［スタート］メニューのプログラムから、「e-Tax ソフト」を選択してください。

「バージョンアッププログラム接続確認」画面が表示されます。



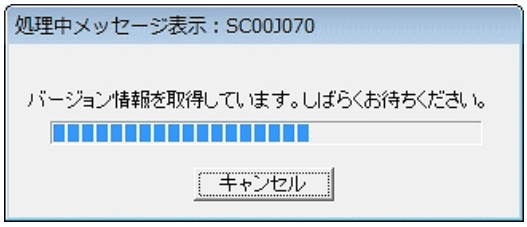
2 OK をクリックします。

注 意

キャンセル をクリックすると、警告メッセージが表示されます。
詳細は、以下を参照してください。

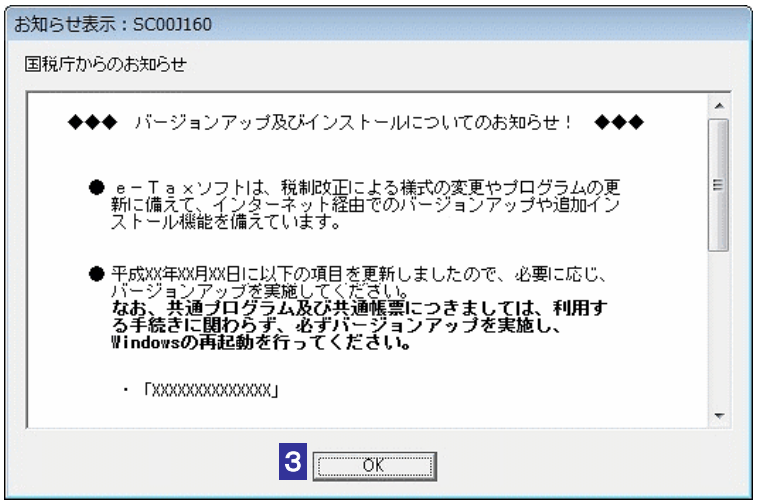
➡📖 577 ページ「バージョン確認をキャンセルする場合は」

サーバからバージョン情報が取得されます。



取得が完了すると、「お知らせ表示」画面にて「国税庁からのお知らせ」が表示されます。

注 意　国税庁からのお知らせがない場合は、「お知らせ表示」画面は表示されません。



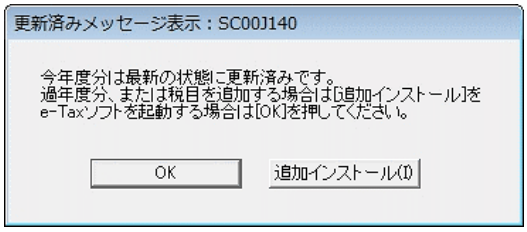
3 お知らせを確認し、OK をクリックします。

利用者のインストール状況に応じて、バージョン確認の結果が表示されます。
以下のいずれかに進みます。

➡📖 575 ページ「インストール状況がすべて最新の場合」
➡📖 575 ページ「バージョンアップが必要な項目がある場合」

インストール状況がすべて最新の場合

インストール状況がすべて最新であった場合は、以下の画面が表示されます。



- 「メイン」画面を表示する場合は、OK をクリックします。
- 過年度分（平成 15 年度サービス分以降で、年分廃止対象を除く）、又は新たに税目を追加する場合は、

  追加インストール をクリックします。

➡🕮「付録 2-4　追加インストールを行う」

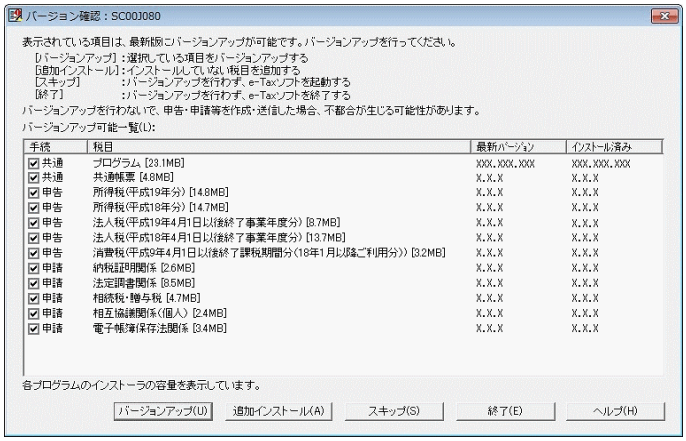
ヒント

パソコンに税目が何もインストールされていない場合、OK をクリックした後に、税目を新しくインストールするか確認する画面が表示されます。

➡🕮576 ページ「税目が何もインストールされていない場合」

バージョンアップが必要な項目がある場合

パソコンにインストールされている年分・税目のバージョンが最新と異なる場合、バージョンアップが必要な項目が一覧表示されます。



ヒント

・「インストール済み」には、現在、利用者のパソコンにインストールされているバージョンが表示されます。

・“－”は、インストールされていないことを示します。

・パソコンに税目が何もインストールされていない場合、[バージョンアップ] をクリックした後に、税目を新しくインストールするか確認する画面が表示されます。

➡📖576 ページ「税目が何もインストールされていない場合」

以下のいずれかの操作を行います。

バージョンアップが必要な項目のバージョンアップを行う

➡📖「付録 2-3　バージョンアップを行う」

過年度分（平成 15 年度サービス分以降で、年分廃止対象を除く）、又は新たに税目を追加する

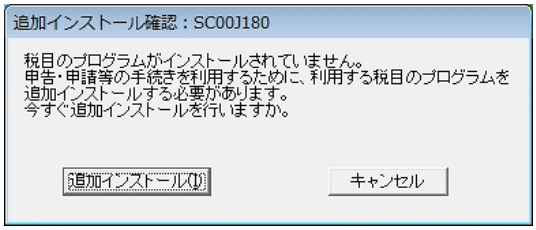
➡📖「付録 2-4　追加インストールを行う」

バージョン確認を終了し、「メイン」画面を表示する場合は、[スキップ] をクリックする

e-Tax ソフトを終了する場合は、[終了] をクリックする

税目が何もインストールされていない場合

パソコンに税目が何もインストールされていない場合、追加でインストールを行うか確認を行う画面が表示されます。



- 新たに税目を追加する場合は、[追加インストール] をクリックします。

➡📖「付録 2-4　追加インストールを行う」

- 税目のインストールを行わずに操作を継続する場合は、

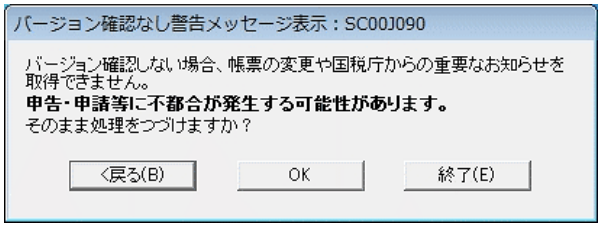
  [キャンセル] をクリックします。

ヒント

e-Tax ソフトで申告・申請等の手続を作成するためには、利用する税目をインストールする必要があります。税目の追加インストールをお勧めします。

バージョン確認をキャンセルする場合は

「バージョンアッププログラム接続確認」画面でバージョン確認をキャンセルすると、警告メッセージが表示されます。
バージョン確認を行わないと、帳票の変更や国税庁からのお知らせが取得できないだけでなく、申告・申請等に不都合が発生する可能性があります。
［＜ 戻る］をクリックしてバージョン確認を続けることをお勧めします。



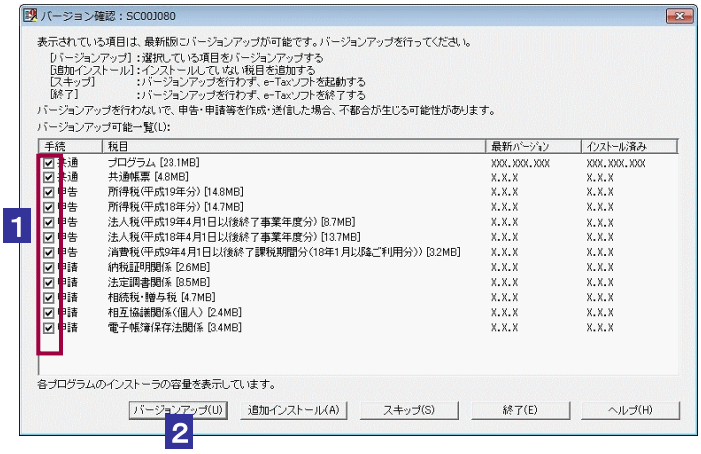
・［＜ 戻る］をクリックすると、「バージョンアッププログラム接続確認」画面に戻ります（推奨）。

・［OK］をクリックすると、バージョンアップ確認のための処理を終了し、「メイン」画面が表示されます。

・［終了］をクリックすると、e-Tax ソフトが終了します。

付録 2-3　バージョンアップを行う

バージョン確認で表示された項目のバージョンアップを行います。



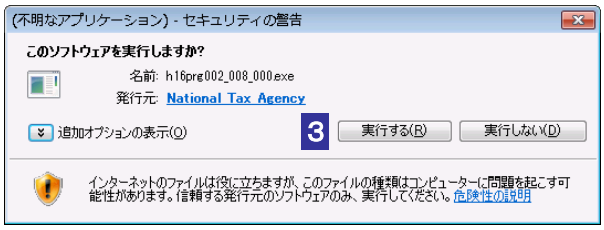
1 バージョンアップを行う項目を確認します。

初期はすべての項目が選択されています。必要に応じてチェックを外すことができます。

注 意　「プログラム」、「共通テーブル」、「出入国港テーブル」「共通帳票」のチェックを外すことはできません。

2 バージョンアップ をクリックします。

ダウンロードが開始され、状況が表示されます。ダウンロードが終了すると、「セキュリティ警告」画面が表示されます。

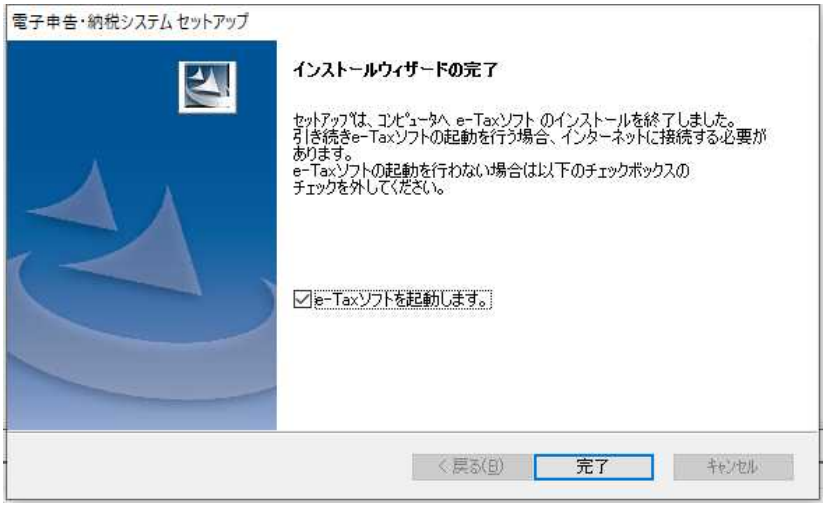


3 内容を確認し、実行する をクリックします。

インストーラが起動し、インストールが開始されます。
複数の項目を選択した場合、インストールが終了すると次の項目のダウンロードが開始されます。
すべて終了すると、「メイン」画面が表示されます。

注 意

バージョンアップ後に再起動が必要なメッセージが表示された場合、ご面倒でも必ずオペレーティングシステムを再起動してください。再起動後インストール完了画面が表示されます。



1. 引き続き e-Tax ソフトを起動する場合、 完了 をクリックします。
   e-Tax ソフトを起動しない場合、チェックボックスのチェックを外し 完了 をクリックしてください。

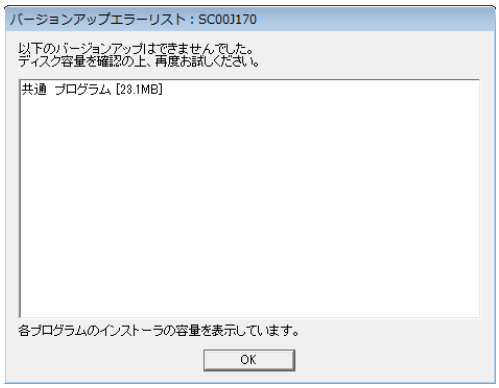
ヒント

「セキュリティ警告」画面が毎回表示されるのを回避することができます。
「National Tax Agency からのソフトウェアは常に実行する」をチェックすると、次回から（次の項目のダウロードから）「セキュリティ警告」画面は表示されません。
実行しない をクリックすると、インストールは実行されません。複数の項目を選択している場合は、次の項目のダウンロード処理が開始されます。

以上でバージョンアップは終了です。
必要に応じてインターネットを切断してください。

バージョンアップに失敗した場合は

バージョンアップに失敗した項目がある場合は、エラーリストに失敗した項目が表示されます。ディスク容量を確認の上、再度バージョンアップを行ってください。



1. エラー項目を確認します。

2. OK をクリックします。
   「メイン」画面が表示されます。

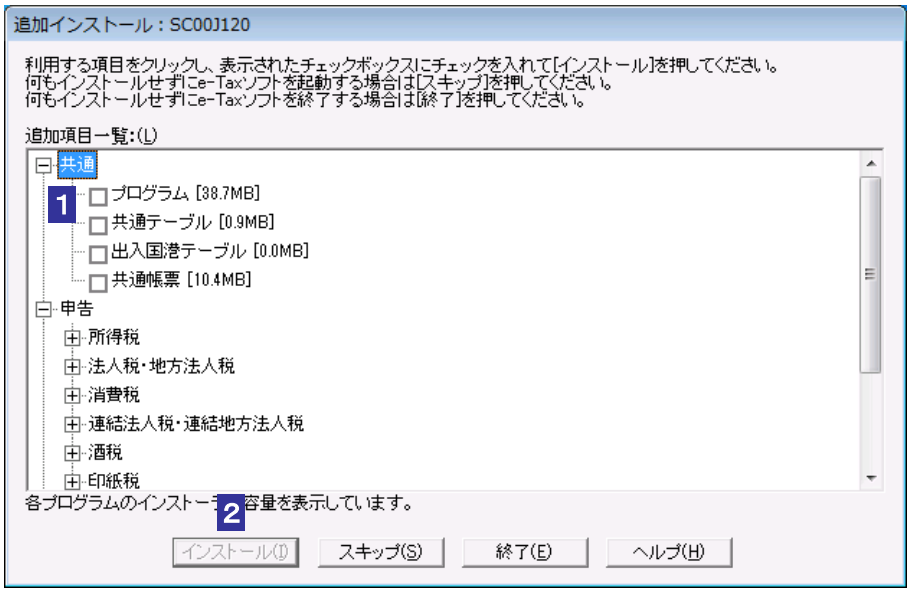
再起動後にエラーが出力された場合は

バージョンアップ後の再起動時に処理の失敗がある場合、エラーメッセージが出力されます。e-Tax ソフトをアンインストール後、再度インストールを行ってください。

付録 2-4　追加インストールを行う

「バージョン確認」画面で 追加インストール をクリックすると、以下の画面が表示されます。

この画面には、すべての税目の過年度分（平成 15 年度サービス分以降で、年分廃止対象を除く）及び最新年度分が表示されます。
バージョンアップに加えて、過年度分（平成 15 年度サービス分以降で、年分廃止対象を除く）や新たな税目を選択し、追加インストールを行うことができます。



1 インストールする項目をチェックします。

注 意　「プログラム」、「共通テーブル」、「出入国港テーブル」、「共通帳票」のチェックを外すことはできません。
なお、個人が利用する税目(申告・所得税等)にチェックを入れた場合は「共通テーブル」に、「申請・国際観光旅客税」にチェックを入れた場合は「出入国港テーブル」に自動でチェックが入ります。
(共通テーブルは個人が利用する税目(申告・所得税等)の申告・申請等作成時に、出入国港テーブルは国際観光旅客税の申請等作成時に必要となりますので、必ずバージョンアップを行ってください)

ヒント

項目の左に ┼ が付いているものは下位の階層があります。
┼ をクリックすると下位の階層が表示されます。
UP！ が付与されている項目は、利用者がバージョンアップ（又は再インストール）を必要とする項目が含まれていることを示します。UP！ が付与されている項目は自動でチェックされていますが、必要に応じて外すことができます。

2 インストール をクリックします。

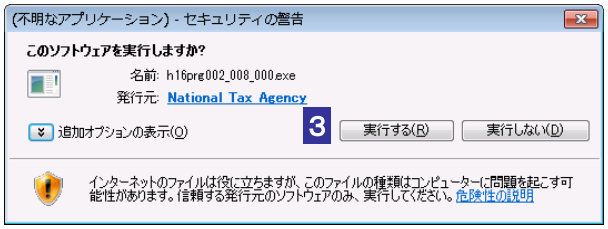
注 意

チェックされた項目は、利用者のインストール状況にかかわらず、新規インストール又は再インストールされます。

ヒント

スキップ をクリックすると、追加インストールが終了し、「メイン」画面が表示されます。
終了 をクリックすると、e-Tax ソフトが終了します。

ダウンロードが開始され、状況が表示されます。ダウンロードが終了すると、「セキュリティ警告」画面が表示されます。



3 内容を確認し、実行する をクリックします。

インストーラが起動し、インストールが開始されます。
複数の項目を選択した場合、インストールが終了すると次の項目のダウンロードが開始されます。
すべて終了すると、「メイン」画面が表示されます。

ヒント

「セキュリティ警告」画面が毎回表示されるのを回避することができます。
「National Tax Agency からのソフトウェアは常に実行する」をチェックすると、次回から（次の項目のダウロードから）「セキュリティ警告」画面は表示されません。
実行しない をクリックすると、インストールは実行されません。複数の項目を選択している場合は、次の項目のダウンロード処理が開始されます。

以上で追加インストールは終了です。
必要に応じてインターネットを切断してください。

ヒント

インストールに失敗した項目がある場合は、エラーリストが表示されます。
詳細は、以下を参照してください。
➡📖 580 ページ「バージョンアップに失敗した場合は」